

V. 特記事項

1 「めしませ、近江のおむすびプロジェクト」

短期大学部ライフデザイン学科は、令和2(2020)年度から3ヶ年計画で「めしませ、近江のおむすびプロジェクト」事業を実施予定であった。この事業は、平成29(2017)～令和元(2019)年度に滋賀県立大学がCOC+事業として滋賀中央信用金庫・湖東信用金庫と共催し、県内6大学に参加をよびかけたアイデアコンテスト「君の意見が未来をつくる」において、短期大学部ライフデザイン学科学生が、平成29(2017)年度と令和元(2019)年度にグランプリ(滋賀県知事賞)、平成30(2018)年度に準グランプリ(滋賀中央信用金庫理事長賞)を獲得した事が背景にある。これらの提案に対し、滋賀中央信用金庫・湖東信用金庫から事業化の提案があり、令和2(2020)年6月3日に滋賀中央信用金庫・湖東信用金庫と包括協定を締結した。その席で決定した事業内容は、令和2(2020)～令和4(2022)年度に湖東の3つの重要伝統的建造物群保存地区で、観光客に対し年3回、学生が用意したおむすびを無償配布し、もてなし県としてのイメージを高めてリピート効果を狙う、というものである。滋賀県、近江八幡市、東近江市、彦根市、近江八幡商工会議所、八日市商工会議所、彦根商工会議所、東近江商工会議所、びわこビクターズビューロー、近江八幡観光物産協会、東近江観光協会、彦根観光協会、近江ツーリズムボード、五個荘まちづくり協議会、金堂まちなみ保存会、近江鉄道株式会社の後援も決定していた。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から延期状態にあるが、本年6月5日に「滋賀の町なみセミナー」のみ実施した。

2 図書出版専門委員会の設置と県内教育機関及び全国公共図書館へ研究図書寄贈

短期大学教員の研究業績を教育や地域振興に資するため、短期大学部は平成30(2018)年度中の教授会に、教員の出版をサポートする図書出版委員会の設置を提案して可決された。これにより図書館委員会の内部組織として図書出版専門委員会が設置され、原稿内容の確認や印刷業者の紹介など、多方面からサポートする事になった。短期大学部教員はこれを利用し、令和元(2019)年度に書籍『京は大火!大地震!そのとき京人は、どうふるまったのか』を出版、防災教育に資するため県内全小学校と全大学、国都道府県立図書館へ無償で寄贈した。令和2(2020)年度には、書籍『京都のまちなみは、こうして生まれた』を出版し、歴史教育に資するため、県内全大学と国都道府県立図書館へ寄贈した。令和3(2021)年度は、4年制大学教員の協力も得て滋賀県の歴史的な町なみの特徴と成立要因を説明する『滋賀県の町なみ～地域の歴史と生活の器を知る～』を出版し、「生活」や「歴史」、「社会」といった教科教育ならびに観光産業など地域振興に資するため、県内全小学校・中学校・高等学校・大学ならびに国都道府県立図書館、県市町の教育委員会および観光協会へ寄贈した。

<エビデンス集 (資料編)>

- 【資料 V-1】 2020年度『びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部研究紀要』
「ちーむ・びわたんの提案、めしませ近江の姫むすびについて、
2019年度COC+アイデアコンテストに関連して」山和美・吉原真紀・丸山俊明
- 【資料 V-2】 令和3(2021)年6月「滋賀の町なみセミナー」実施案内、実施要項
- 【資料 V-3】 びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部
図書館出版専門委員会の設置ならびに業務に関する要項
- 【資料 V-4】 びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部
出版支援申請書(2018～2021年)